

論文の内容の要旨

IRREGULAR MIGRATION FROM MYANMAR:
IN PURSUIT OF MON MIGRANTS' HUMAN SECURITY
THROUGH SOCIAL NETWORKS

(ミャンマーからの不法移動 :

ソーシャルネットワークを通じて追求するモン族における人間の安全保障)

カイン ングェ ニン ゾウ

本論文の目的はミャンマーとタイで不法労働者として働くミャンマーからのモン族と彼らの不法移動を長く支えてきたプェサー(Pwe-sar)という移動仲介者たちのユニークな関係を明らかにする事である。また今までに研究されていないトランスナショナルな移動やミャンマーと不法移民ホスト国にまたがるモン族とプェサーのソーシャルネットワークを把握し、移動仲介者たちの果たす役割を検討する事である。プェサーはインフォーマルに存在している為、彼らのネットワークを利用して移動する事は不法であるとミャンマー政府が考えている。しかし、国家間移動にあたり正式の渡航文書を持たずプェサーを必要とする多くの少数民族がミャンマー国内外に多数いるのも事実である。

プェサーという言葉はミャンマー語で一般的に買い手と売り手の間の交渉を助け、契約の成立などを媒介する仲立人を指す。関与する商売によりプェサーの種類も手数料も違う。しかし、本論文ではモン族の不法労働者たちをミャンマーからタイへ、また タイからミャンマーへ送り届け、さらにタイで仕事を紹介する仲介者のみの事をプェサーと呼ぶ。プェサーは昔からミャン

マー社会で別名で存在し、時には王の税関官吏として尊敬された。モン州は自然が豊かな場所に位置しているが、長く続いた内戦で教育、人材育成、経済成長も遅れ、モン族は社会経済的に貧しい状況に置かれている。そのが不法移動の原因の一つとして考えられる。公的手段を通じて渡航文書を申請する際には、虐め、差別、ハラスメントを受けたりするため、不法移動で仕事を得て家族を支えているとモン労働者たちは調査で述べた。本調査では、モン族労働者たちは政府認可を受けた海外仕事仲介業者より不法プエサーにより強い信頼感を持ち、またたとえ移動中逮捕される恐れがあるとしても、タイへの移動費が安い、海外で仕事見つかるまでのプロセスに時間かからない等の理由により仲介者としてプエサーをより好むことが示された。

ここで本論文で6つの仮説を示す。まず一つ目としてモン族移民たちは不法プエサーにより身の危険にさらされる可能性が高いとしても他の仲介者より信頼するプエサーを選ぶ事である。次の仮説はプエサーによる不法移動は中央政府に知られずに密かに移動できる事と信じ、彼らから見るとそれがある程度の自由と尊厳を確保できるという事である。三番目の仮説として、モン不法労働者たちは自分たちを常に支持して来たソーシャルネットワークを利用して目的であるモン族の人間の安全保障を実現させつつあるという事である。続いて3番目の仮説として二つのネットワーク連携を論じている。モン労働者たちとプエサーの間に信頼感を基にして作られたネットワークは家族という血の繋がりもあり、また友人という長い付き合いもあり、Granovetter (1973)によると「強い紐帯」だと分析できる。一方で、労働者たちとプエサーでない仲介業者らの間のネットワークは売買関係しかない為、「弱い紐帯」があると分析でき。最後の仮説は、許可を持っている仲介業者らの非合法的なサービスに人々が信用できなくなり、それが不法移動、不法行動などを奨励しているというものである。

モン族不法移動に大きく繋がっているこのソーシャルネットワークの存在を政府が承認し、移民の為になる自由化をする事で現在人権が損なわれているモン族らの人間の安全保障が徐々に

実現できると考えられる。不法の状態はモン州で就労許可証をもっと出す事で変えられないと結論できる。すべてのモン族の労働者らがこれからミャンマー国籍を申請し、渡航文書を持つようになり、タイにいる間も再入国許可証や就労ビザの延長などを体系的に行うという保障はない。それは合法的に物事をすすめる事が現状では自分の為になるという確信がないからと見られる。この論文の為 2009 年の 7 月から 2011 年の 10 月の間 5 回分けてミャンマーのヤンゴンとモン州で調査を行った。本研究でプェサー 50 名、仲介業者会社 20 件と 804 人を含む 200 世帯のインタビュー調査データを収集した。論文の構成としては、導入の章に続いて、2 章ではモン州とモン族の歴史的背景を現在の状況と併せて示す。第 3 章で今まで研究されていないミャンマーのプェサーを紹介し、なぜ不法でいながらモン族の労働者たちに信頼されているのかを探る。4 章では調査対象地に関する基本的な情報を示し、この研究に至る上で重要だった文献への言及を分析する。モン族にとって移動と希望が繋がっているということを観てゆく。5 章ではミャンマーの法律尊重主義と人間の安全保障がどのように特徴付けられるかを探る。結論の 6 章ではそれまでの章での主要議論を関連づけ、モン族にとっての人間の安全保障とは、モン州で平和な状態が持続し、ミャンマー人、タイ人と平等な生活ができる社会において子供たちが希望を持って自分の民族、国の為に働ける事を意味するという点を示す。